

平成 30 年度 山形のみちづくり評議会(第2回) 議事要旨

1. 日時

平成 30 年 11 月 13 日 (火) 13 : 30~15 : 05

2. 出席委員

柴田会長、塩原委員、津藤委員、宮原委員、小山委員、皆川委員、和田委員、角湯委員 8 名

3. 議事

- (1) 平成 29 年度 道路事業の達成度報告について
- (2) 「山形県道路中期計画 2028」の素案について

4. 議事概要

(1) 平成 29 年度道路事業の達成度報告について

- 事務局より各施策の取組状況、各指標の達成状況（平成 29 年度末の実績及び平成 30 年度末の見込み）について事務局より説明した。
- 「概ね達成」や「未達成」と評価した指標において、評価理由等を説明し了承を得た。

(2) 「山形県道路中期計画 2028」の素案について

- 計画素案の本文の構成、評議会等の意見の反映状況、計画の副題の案について事務局より説明し、意見をいただいた。
- より充実した計画とするため、委員より引き続き意見を募集することとした。
(期限を 11/27(火)としてメールにて委員に依頼済)
- パブリックコメント実施前に評議会を開催し、原案の最終確認を行う。

5. 「道路中期計画 2028（素案）」に対する主な意見

(1) 重要物流道路について

- 貨物輸入の多くは酒田港からトラックで内陸や太平洋側に運搬されるため、地域高規格道路を重要物流道路に指定したうえで整備推進が必要。
- 国際海上コンテナ車の円滑な通行のため、ICまでのアクセス路の機能強化が重要

(2) ICTの活用について

- 県内においてもICT建設機械での施工が見られるようになり、こうした新たな技能を身につけた人材の確保が必要

(3) 道路施設の老朽化について

- 橋梁等の施設の老朽化が進行する中、長寿命化対策とともに、統廃合を含めた計画的な架替についても議論を始める必要がある。

(4) 道路規制情報の情報提供のあり方について

- 県のホームページで情報提供を開始した道路の規制状況について、県民に対して周知を図る必要がある。

(5) 除雪のしやすい道路整備について

- 除雪経費の軽減のため、除雪のしやすいみちづくりが必要

(6) テーマ（副題）について

- 人口減少社会の折、今後更なる交流人口の拡大を図ることが重要。道路は、ヒト・モノの対流を促進する重要なインフラである。